

風景表現の魅力に迫る — 初公開を含む珠玉の収蔵作品で紹介！

横浜美術館コレクション展「みる風景、かんがえる風景」開催

2026年4月25日(土)～6月28日(日) 横浜美術館

本展は、「みる風景、かんがえる風景」と題し、19世紀から21世紀にいたる多様な風景表現を紹介します。山や海をはじめとする自然や、近代都市、夢や無意識といった人間の内なる世界の投影など、当館のコレクションから「風景」に関する作品を選びすぎり、その魅力に迫ります。近年、新たに収蔵された作品も初公開します。風景はそれぞれの感性によって受け止められる一方、文化、社会、政治との関係のなかで考察される知的な対象でもあります。芸術家や写真家たちは、風景に何をみて、何を考え、作品として表現したのでしょうか。ぜひ会場で、作家たちが描写した風景をご覧ください。



清野賀子《山梨(「Emotional Imprintings」より)》
1996年 発色現像方式印画 37.5×55.2cm
清野良民氏・清野訓子氏寄贈

加えて、ハイライトコーナーでは、横浜美術館の珠玉の所蔵作品を厳選して紹介します。横浜にゆかりのある作家や、カンディンスキー、ピカソ、ダリといった西洋美術を代表する作家の作品を集め、コレクションの魅力に迫ります。

(詳細は添付資料をご参照ください。)

会期	2026年4月25日(土)～6月28日(日)
会場	横浜美術館 ギャラリー3、ギャラリー4、ギャラリー5
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	木曜日 ※4月30日、5月7日は開館
主催	横浜美術館 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
観覧料	一般 500 (400) 円／大学生 300 (240) 円／中学・高校生 100 (80) 円／小学生以下無料 * ()内は有料 20名以上の団体料金 (要事前予約 [TEL:045-221-0300]、美術館券売所でのみ販売) * 毎週土曜日は、高校生以下無料 * 障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料 * 「今村紫紅」展ご観覧当日に限り、「今村紫紅」展の観覧券で「コレクション展」、「アーティストとひらく」もご覧いただけます。 * じゆうエリア(ギャラリー9、グランドギャラリー、3F回廊)でのコレクション展は観覧無料
問合せ	横浜美術館 045-221-0300 (代表)

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

本件についてのお問合せ先 *本日は17時15分まで在席しております。

横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	担当グループ長	水谷
	広報担当	高野、高橋、岩見屋
		Tel 045-221-0368
		Tel 045-221-0319

2026年3月24日



横浜美術館コレクション展

みる風景、かんがえる風景

2026年4月25日（土）～6月28日（日）



清野賀子《山梨（「Emotional Imprintings」より）》
1996年 発色現像方式印画 37.5×55.2cm 清野良民氏・清野訓子氏寄贈

概要

横浜美術館では、横浜が開港した19世紀後半から現代にいたる約15,000点の作品を所蔵しています。コレクション展では、会期ごとに様々な角度からコレクションの魅力を発信しています。

今回のコレクション展は、「みる風景、かんがえる風景」と題し、19世紀から21世紀にいたる多様な風景表現を紹介します。今を生きる私たちにとっての風景には、山や海などの自然に限らず、日常生活の一部となっている人工的につくられた構造物なども含まれています。シュルレアリスムにおける表現にみられるように、目の前にあるものだけでなく、夢や幻想、無意識など、人間の内なる世界の投影もまた、風景のひとつといえるでしょう。風景は、それぞれの感性によって受け止められる一方、文化、社会、政治との関係のなかで考察される知的な対象でもあります。

芸術家や写真家たちは、風景に何をみて、何を考え、作品としてどのように表現していったのでしょうか。この展示は、〈自然〉〈都市〉〈無意識と現実〉〈イデオロギー〉といったキーワードのもとで、風景という主題を再考します。

加えて「ハイライト」コーナーでは、横浜美術館の珠玉の所蔵作品を厳選して紹介します。横浜にゆかりのある作家や、カンディンスキー、ピカソ、ダリといった西洋美術を代表する作家の作品を集め、コレクションの魅力を迫ります。

さらに、コレクション展内では、2025年度に始動した「アーティストとひらく」の第2回として「鎌田友介展：ある想像力、ふたつの土地」を開催します。ここでは、風景表現をめぐるコレクション展、そして「今村紫紅」展と連動し、横浜のグローバル／ローカルな歴史における原三溪に着目した鎌田友介が、新作を発表します。



ポール・セザンヌ
《ガルダンヌから見たサント＝ヴィクトワール山》
1892-95年 油彩、カンヴァス 73.0×92.0cm



ウジェーヌ・アジェ
《ヴェルサイユ、「雷雨」》
1903年（1977年のプリント）
ゼラチン・シルバー・プリント 17.7×23.6cm



フェルナン・レジェ
《コンポジション》
1931年 油彩、カンヴァス 66.0×92.0cm

みどころ

1. 同時開催の「没後 110 年 日本画の革命児 今村紫紅」展と連動

南画や印象派などの表現を取り入れ、風景画において個性を発揮した今村紫紅。コレクション展では、紫紅が活躍した明治時代の末以降の、国内外の多様な風景表現をたどります。



富山妙子
《小さな鉱山》

1953年 油彩、カンヴァス 60.5×72.5cm
坂田隼氏寄贈

2. 新収蔵作品の公開

近年、新たに収蔵された中から、風景に関連する作品を選んで初公開します。

3. 「ハイライト」を特別な空間で紹介

天井が高く円筒状の空間が特徴のギャラリーで、ピカソやダリといった作家たちの名品をゆっくり鑑賞することができます。

出品作家

・みる風景、かんがえる風景

ウジェーヌ・アジェ、アンセル・アダムス、マックス・エルンスト、アルフレッド・スティーグリッツ、ポール・セザンヌ、イヴ・タンギー、フェリーチェ・ベアト、ルネ・マグリット、フェルナン・レジェ、牛田雞村、大下藤次郎、木村莊八、清野賀子、高橋由一、富山妙子、中平卓馬、米田知子、ほか

・ハイライト

ヴァシリイ・カンディンスキー、サルバドル・ダリ、パブロ・ピカソ、コンスタンティン・ブランクーシ、奈良美智、ほか



ヴァシリイ・カンディンスキー
《網の中の赤》

1927年 油彩、厚紙 61.0×49.0cm

関連イベント

<ギャラリートーク>

さまざまな切り口で、学芸員やエドゥケーターが作品の見どころや楽しみ方を紹介します。詳細は、決まり次第ウェブサイトにてご案内します。

開催概要

- 展覧会名 横浜美術館コレクション展 みる風景、かんがえる風景
 - 会場 横浜美術館（神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1）
ギャラリー3、ギャラリー4、ギャラリー5
 - 会期 2026年4月25日(土)～6月28日(日)
 - 開館時間 10:00～18:00（入館は閉館の30分前まで）
 - 休館日 木曜日 ※4月30日、5月7日は開館
 - 主催 横浜美術館（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
 - 観覧料 一般 500（400）円／大学生 300（240）円／中学・高校生 100（80）円／小学生以下無料
- *（）内は有料 20名以上の団体料金（要事前予約 [TEL:045-221-0300]、美術館券売所でのみ販売）
- *毎週土曜日は、高校生以下無料
- *障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料
- *「今村紫紅」展ご観覧当日に限り、「今村紫紅」展の観覧券で「コレクション展」、「アーティストとひらく」もご覧いただけます。
- *じゆうエリア（ギャラリー9、グランドギャラリー、3F 回廊）でのコレクション展は観覧無料

■ウェブサイト

URL：https://yokohama.art.museum/exhibition/202604_collection/

横浜美術館 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1
TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <https://yokohama.art.museum>

プレス画像申込はこちら

お問合せ先 横浜美術館 広報担当（高野、高橋、岩見屋）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：pr-yama@yaf.or.jp